

# 令和5年中の交通事故発生状況

## 1 交通事故発生状況

(1) 全国及び管内各県の死者数

区分	死者数	増減数	増減率
全国	2,678	+68	+2.6%
管区計	340	-15	-4.2%
富山	31	-3	-8.8%
石川	28	+6	+27.3%
福井	20	-7	-25.9%
岐阜	50	-25	-33.3%
愛知	145	+8	+5.8%
三重	66	+6	+10.0%

(2) 県下の交通事故発生状況

区分	人身件数	死者数	負傷者数
令和5年	3,077	50	3,806
令和4年	2,895	75	3,500
増減数	+182	-25	+306
増減率	+6.3%	-33.3%	+8.7%

(3) 月別死者数

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
令和5年	2	2	1	8	1	5	6	3	6	11	3	2
令和4年	3	3	6	6	8	6	6	6	4	11	8	8
増減数	-1	-1	-5	+2	-7	-1	0	-3	+2	0	-5	-6

(4) ブロック別死者数

区分	岐阜	西濃	中濃	東濃	飛騨	高速
令和5年	18	10	11	1	7	3
令和4年	26	10	10	13	8	8
増減数	-8	0	+1	-12	-1	-5

(5) 年齢層別死者数

区分	子ども	若年者	高齢者	その他
令和5年	0	2	39	9
令和4年	0	1	48	26
増減数	0	+1	-9	-17

## 2 死亡事故(47件、50人)の特徴

令和5年中の死亡事故は47件50人発生し、死者数は前年より25人減少した。全国での岐阜県の位置(ワースト順位)は、死者数18位、増減数46位、増減率45位。また、人口10万人当たりの死者数は2.57人で、全国ワースト27位。(全国:2.14人)  
注:人口は令和4年10月1日現在(推計値)

(1) 高齢者の死者が約8割

高齢者の死者が39人(前年比-9人)で、全死者(50人)の78.0%を占め、このうち自動車乗車中が16人で最も多く、次いで歩行中が13人と多い。

(2) 自動車乗車中の死者が約5割

自動車乗車中の死者が23人(前年比-11人)で、全死者の46.0%を占め、このうちシートベルト非着用者が6人で、うち3人は着用していれば死亡には至らなかったと思われる。

(3) 歩行中・自転車乗用中の死者があわせて約5割

歩行中(15人)・自転車乗用中(8人)の死者があわせて23人(前年比-12人[歩行中-9人・自転車乗用中-3人])で、全死者の46.0%を占め、このうち高齢者の死者が20人(歩行者13人・自転車7人)と大半を占めた。

(4) 高齢運転者による事故が約5割

高齢運転者による事故が20件(前年比-1件)で、全運転者事故(43件)の46.5%を占め、このうち75歳以上の運転者による事故が13件で、全高齢運転者事故の65.0%を占めた。

《 特に減少が多い事故 》

- 夜間事故18件(前年比-15件・-45.5%)
- 道路横断中歩行者との事故7件(前年比-9件・-56.3%)
- 飲酒関係事故0件(前年比-6件・-100.0%)

注:子どもは中学生以下、若年者は24歳以下、高齢者は65歳以上をいう。  
夜間は日没から日の出までをいう。  
全運転者事故は原付以上運転者が第1当事者(主たる原因)となった事故をいう。  
飲酒関係事故は原付以上の第1当事者が飲酒状態による事故で検知不能を含む。

## 3 「30日死者」(24時間を経過し30日以内に死亡した者)

30日死者は5人で、前年より2人減少。 ※12月末で死亡を確認したもの。

《 年間死者数推移 》

年別	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
年間死者数	125	93	106	90	75	91	84	43	61	75	50
指数	100	74	85	72	60	73	67	34	49	60	40

注:指数はH25を100として算出